

## 平成4年作庭業者へのインタビュー

### 【作庭業者】

株式会社 芳樹園

常務取締役 統括部長 玉木 正和 氏（69歳） ※作庭当時33歳（役職変わらず）

### 【平成4年の作庭経緯について】

- ・当時、新潟市からの依頼で数パターンの企画書を作成した。今後増えるであろう来賓に対応するための迎賓館的な活用を想定していた。
- ・当時、燕喜館の庭園工事についても対応していたが、長谷川元市長の指示だったので、旧市長公舎の庭園についても長谷川元市長のお考えがあったのだろうと思う。

### 【平成4年以前の庭の状態について】

- ・記録は残っていないが、全体的に現在より土が盛り上がっていて、貯水槽があったと記憶している。平成4年の作庭時に土を減らし、貯水槽を撤去した。

### 【平成4年以降の庭園管理について】

- ・作庭以降もしばらく庭園管理を受注していたが、大きな変化はなかったと思う。

### 【旧市長公舎の庭園の価値について】

- ・根上がり松が象徴的な非常に良い庭である。これだけ良い庭はなかなかないので、現在の状態がもったいなく感じている。

### 【今後の活用について】

- ・今後、利用希望者を公募していく場合は現地視察等実施すると思うが、現在の庭園は芝が枯れていたりして本来の状態とかけ離れているため、魅力的に見えないのではないかと。現地視察等の前に庭園を整備しておいた方が良いと思う。



平成4年作庭時の庭園